

# 川崎地域連合

## 川崎市へ「2020年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出！

### J R南武線対策や自然災害対策などを要請

連合神奈川と川崎地域連合は、2019年9月2日(月)15時50分より川崎市第3庁舎において、「2020年度に向けた政策・制度要求と提言」の申し入れを行いました。

冒頭、柏木会長は、政策制度については「SDGsを意識し、誰も取り残さないという思いで作成した。取り入れられることは取り入れてほしい」と挨拶しました。

つぎに藤吉議長は、「今年度も働く者・市民を代表して提出する。前向きに検討してほしい」と申し入れました。

福田市長からは、「川崎市として課題にしているところを指摘いただいたと思っている」と述べ、「J R南武線の混雑緩和については、連合の仲間や沿線の企業にも働き方改革という視点をもってソフト面でご協力いただきたい」と挨拶されました。

連合神奈川 申し入れ件数24件 (内新規5件)

川崎地域連合 申し入れ件数58件 (内新規18件)



要請書を渡す福田市長(右)に渡す藤吉議長(左)



挨拶をする柏木会長



説明を聞く福田市長

予算編成へ政策要求  
連合神奈川と川崎地域連合

福田紀彦市長(右)に政策・制度要求を手渡す川崎地域連合の藤吉議長  
＝川崎市役所

連合神奈川(柏木教一会長)と川崎地域連合(藤吉一郎議長)は2日、川崎市の2020年度予算編成に向けた政策・制度要求をまとめ、福田紀彦市長に提出した。

川崎地域連合は重点要求として、例年通りJR南武線の輸送力増強と、駅の安全対策としてJR武蔵小杉駅の混雑緩和を掲げた。このほか、介護を理由に退職する「介護離職者」が多いことに触れ、仕事と介護の両立に向けた啓発活動を企業とタッグを組んで積極的に展開するよう求めた。

福田市長は、「南武線の問題は大きな課題だ。ハード面での対策が進まず、ソフト面に対応しているが、みんなで協力しなくてはならない。協力して、課題解決をしていきたい」と話した。(鈴木 崇宏)

2019年9月2日  
神奈川新聞 川崎版



挨拶をする藤吉議長